

様式4

学校番号 (中 1 5) 学校名 (光が丘第一中学校) 教科名 (社会)

指 導 技 術		観 点 別 の 授 業 改 善 の 視 点			
教師の指導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導等)		関心・意欲・態度を向上させるための手だて	数学的な見方・考え方を向上させるための手だて	表現・技能を向上させるための手だて	知識・理解を向上させるための手だて
導入	授業規律・・・チャイムで始業できるように早めに教室に行き授業規律を徹底させる。 板書・・・前時に学習したことの中の重要語句を板書し、本時の学習につなげる。 教材提示・・・できるだけ視覚にうつたえるものを用意して印象づけたり、興味・関心を持つ発問を用意して授業にのぞむ。 授業構成・・・本時の目標を提示し、課題意識を持たせる。	前時の基本的なことがらの復習や身近な話題や最近のニュースの話から始めることにより、興味・関心を引き出す。	社会的事象に対してのさまざまな見方や考え方を示すように配慮する。	教科書・副教材の写真や資料を活用して疑問や調べる課題を引き出す。また、新聞などを活用して時事的な問題とのつながりを考えさせる。	重要事項の板書やプリント記入・小テストなどをつかって理解の定着を図る。
展開	板書・・・発問の答えを考えながら書く部分と、まとめながら書く部分を区別しながら書いていく。また、書く量が多くならないように内容を精選する。 ノート指導・・・単元の終わりなどに自分の考えを書かせたり、メモ欄に豆知識を書かせたり、重要事項に色をつけたりして、自分なりのノートをつくるように指導する。 個別指導・・・地図・資料などを使用する場面では、机間巡視をしたり班学習などで作業の遅い生徒を補助する。 発問・・・授業内容が深まるような発問を考えて授業にのぞむよう心がける。 授業規律・・・メリハリをつけた授業を心掛ける。私語が多くならないように授業規律を徹底させる。	例えば身近なこととの関連などをいれて理解しやすくする。質問をできるだけ単純化し、答えやすくする。	社会的事象について、「なぜ」そうなったかを問いかけながら説明し、場面によって話し合いやプリントなどの方法で自分の考えを明確化させていく。	地図やグラフ・年表・資料などの見方を説明し、しるしを付けさせたり、そこからわかることを言わせたり、話し合わせたりする。	単なる暗記にならないように、社会的事象の背景などを考えさせた上で理解させる。
まとめ	発問・・・本時に学習した事項についての発問をし、それに答えさせながら重要事項の確認をし、基本的事項の定着をはかる。 板書・・・授業のまとめを板書のみで行う。	発問により考えさせたり、発言させたり、プリントに記入するなどの方法でわかったことの確認をすることによって、達成感を持たせるようにする。	ノートやプリントにまとめさせることにより考えを明確化し、人の意見を明確化し、人の意見を視野を広げさせるようにする。	点検活動などをこまめに行い資料活用能力の向上をめざす。また、問題練習などにつなげて、達成感をもたす工夫をする。	プリントへの記入や教科書へのマーキング、また、発問などによって重要事項の確認や定着を図る。問題練習を通じて知識の定着を図るよう促す。